

2023年9月12日

IPBES総会第10回会合結果報告会

# IPBES総会第10回会合結果概要

環境省自然環境局生物多様性戦略推進室長

鈴木 渉

# IPBESの概要

## 生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学－政策プラットフォーム (IPBES)

Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services

- 2012年4月設立。事務局はドイツ・ボンに所在。独立した政府間組織。  
※「生物多様性版のIPCC」とも呼ばれる
- 目的(ミッション)  
生物多様性の保全と持続的利用、長期的な人間の福利、持続的発展のための、生物多様性と生態系サービスに関する科学-政策インターフェイスの強化
- 4つの機能  
科学的評価(アセスメント)、知見生成、政策立案支援、能力養成
- 加盟国: 143カ国(2023年8月現在)
- これまでに以下の評価報告書とワークショップ報告書を作成
  - ①生物多様性及び生態系サービスのシナリオとモデルの方法論に関する評価報告書
  - ②花粉媒介者、花粉媒介及び食料生産に関するテーマ別評価報告書
  - ③生物多様性及び生態系サービスに関する地域・準地域別評価報告書
  - ④土地劣化と再生に関するテーマ別評価報告書
  - ⑤生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書
  - ⑥生物多様性とパンデミックに関するワークショップ報告書
  - ⑦生物多様性と気候変動に関するIPBES-IPCC合同ワークショップ報告書
  - ⑧野生種の持続可能な利用に関するテーマ別評価報告書
  - ⑨ 自然の多様な価値と価値評価の方法論に関する評価報告書

# IPBESの組織体制・日本の専門家によるIPBESへの貢献

## 日本人専門家による IPBESアセスメント執筆者と しての参画

(例) 侵略的外来種アセスメント

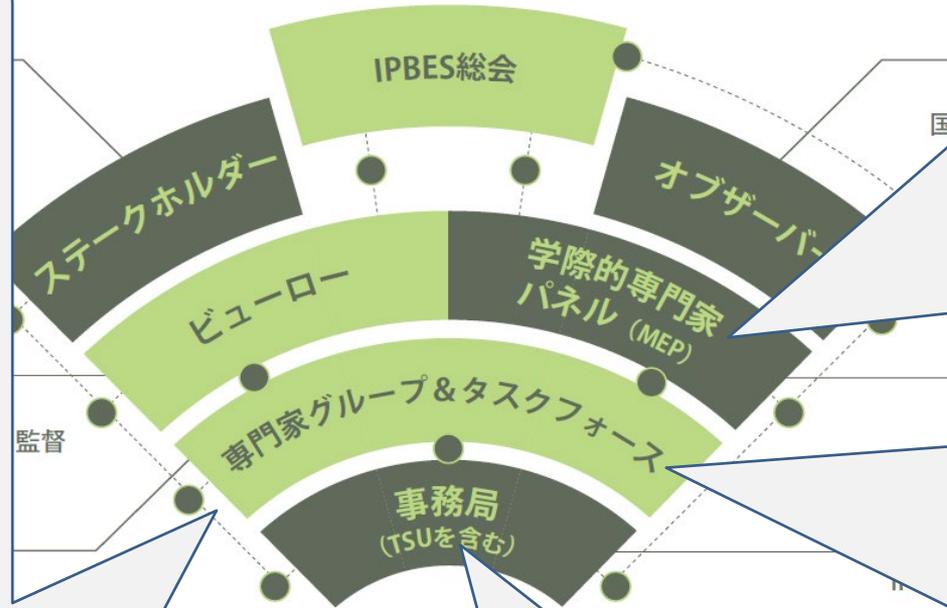
**池田 透氏**  
統括執筆責任者  
(CLA)  
北海道大学大学院  
教授



**池上 真木彦氏**  
主執筆者(LA)  
国立環境研究所主任研究員

**江川 知花氏**  
主執筆者(LA)  
農業・食品産業技術総合研究機  
構主任研究員

**小山 明日香氏**  
主執筆者(LA)  
森林研究・整備機構主任研究員



## 日本人専門家のMEP 共同議長への就任



**橋本 禅氏**  
MEP共同議長  
東京大学大学院准教授

※シナリオモデルタスク  
フォース共同議長として  
も貢献

## ・侵略的外来種アセスメントTSU(2019年～)

尼子 直輝氏 (ヘッド) 氏  
Ms. Tanara Renard Truong Van Nga 氏  
川上 遼子氏

(ホスト機関: 地球環境戦略研究機関(IGES))



・アジア・オセアニア地域アセスメントTSU  
(2015年～2019年)

# IPBES総会第10回会合 概要

- 期間：2023年8月28日～9月2日
- 場所：ドイツ・ボン（ホスト国 米国）
- 主な議題：
  - ◆ 役職者（ビューロー）の選出
  - ◆ 財務と予算
  - ◆ 侵略的外来種とその管理に関するテーマ別評価
  - ◆ 気候変動の相互関係とIPCCとの連携
  - ◆ 能力養成、知識基盤強化と政策支援
  - ◆ IPBESの有効性向上
  - ◆ 2030年までの作業計画の追加要素
  - ◆ 次回総会の日程と開催国

# 「2030年までのIPBES作業計画」の追加要素

IPBES10の結果、追加で3件のアセスメントの実施を決定

- 生物多様性と生態系サービスに関する第二次地球規模アセスメント
- 生物多様性と自然の寄与のモニタリングに関する方法論アセスメント
- 生物多様性が包含された統合的空間計画と生態系の連結性に関する方法論アセスメント



今回IPBES10で実施が決定されたアセスメント

※IPBES12で2030年までに実施するアセスのトピックを追加決定